

朝礼講話「節電に関して」

おはようございます。一学期のまとめの時期に入りました。1年生、2年生、3年生共に目標を持ってがんばったことと思います。生活面・学習面その他をしっかりと振り返り次への決意を固めましょう。

さて、国では今月から家庭や企業に電力の15%削減という使用制限が始まりました。江戸川区では20%削減（役所内は25%の削減）を目指しています。社会全体が電力不足のため、働き方を変え始めています。休日の変更、サマータイムの導入、二交代制など、そして冷房の使用についても規制をしています。皆さんのお父さんやお母さんはこのような中でがんばっています。そんな中、東京都では、「がんばろう日本 節電アクション月間」がスタートし、9月までの3ヶ月間行われます。

これは、去る3月の東日本大震災により、この夏は私たちが生活していくために必要な電力が不足すると言われており、その対応策として節電が求められています。現在は実施されていませんが、震災直後には、東京都も含めて多くの地域で「計画停電」が実施されました。（地震により多くの発電所が被害を受けました。震災前5200万kW、震災直後3100万kW、2100万kW減ってしまいました。電気は貯めておくことができません。電気は私たちの生活に欠かすことができません）

今年の夏は、猛暑で毎日とても暑い日が続いたことを覚えていますか。今年の夏が、昨年ほど暑くなかったとしても、節電をしないまま、これまでのように電気を使っていると、電力がたりなくなり停電になってしまう可能性があります。停電になると、皆さんの家庭では、エアコンやテレビなど、当たり前に使っている電気製品が使えなくなったり、夜になっても照明が使えず暗い中で生活しなければならなくなったりするが、それだけでなく、日本の社会全体にも大きな影響が出ます。電力不足の対応として、節電に取り組むことは、現在の日本では、さけることが出来ない緊急の課題であり、皆さん一人一人に節電の取り組みが強く求められています。

特に、今回、節電の取り組みが、求められているのは、電力の使用量が多く、電力不足の可能性が大きいと言われている「午前9時から午後8時まで」の時間帯になります。ですから、7月の「家庭の節電」については、学校から家に帰った時間から夜までの時間を中心に生活を見直すなど、家庭での過ごし方について考えてください。

<参考 to>

- ・今月の電力供給力：5520万kW、想定需要量：6000万kW、他の電力会社からの融通量：140万kW、融通後供給力：5380万kW、不足分：620万kWになります。これは、東京電力の資料から。
- ・東京電力管内における電力消費量の内訳：東京都29%、東京都以外71%
- ・東京都内の電力消費量の内訳：家庭31%、家庭以外69%
- ・夏の日中（午後2時ころ）の消費電力「エアコン53%、冷蔵庫23%、テレビ5%、照明5%、待機電力4%、その他10%」となっています。エアコンと冷蔵庫で全体の約4分の3を消費しています。
- ・夏の日中（午後2時頃）の消費電力：全世帯平均、在宅家庭1200W、在宅していない家庭340W

<家庭での節電>

- 「家庭での取組」については、「15%の電力の削減」が求められています。
- 東京都は、東京電力が供給する電力の約3割を消費しており、家庭の消費量はその内の約3割を占めています。
- 今回の節電の取組みにおいては、「家庭での節電」がとても重要となります
- 「家庭での節電」のためにチェックシートが配られましたが、そこには、「節電のために出来ること」として10個の項目があります。
- 「節電のためにできること」の10項目はどれも大切なことであり、取り組める項目はできる限り全て取り組む必要があります。
- 「節電のためにできること」の1番目に「冷房の設定温度を高めにする」という項目があるが、例えば、冷房の設定温度を2度高めになると、約10%の節電が期待されます。
- 「冷蔵庫の設定温度を弱くし、ドアを開ける時間を短くして、ものを詰め込みすぎないようにすることで」約2%の節電が期待できます。ですから一つ一つの取組みの積み重ねが大切になってきます。